



我が家の「備え」は大丈夫ですか？ 12月21日は 鬼北町防災の日

鬼北町では、鬼北町防災の日(12月21日)をはさむ12月17日～12月23日の1週間を鬼北町防災週間としています。この機会に、「ふだんからの心構え」、「大地震が起きたら」、「風水害が発生したら」、「避難勧告が発令されたら」など防災について家庭内で話し合しましょう。

問い合わせ: 役場 総務課 地域安全係

☎ 4 5 - 1 1 1 1 内線: 2 3 5

意識

家庭防災会議を開きましょう

家族みんなの防災意識を高め、各人の役割分担や連絡方法を確認するため、定期的に家庭で防災会議を開きましょう。

家庭防災会議は次のような点を確認しましょう。

- ① 地震が起こったときの身の守り方
- ② 家族がバラバラに離れているときに災害が発生した場合の連絡方法
- ③ 避難場所とそこへ行く道順
- ④ 火の始末、非常持ち出し品など災害時における家庭での役割分担
- ⑤ 応急手当の仕方

地震

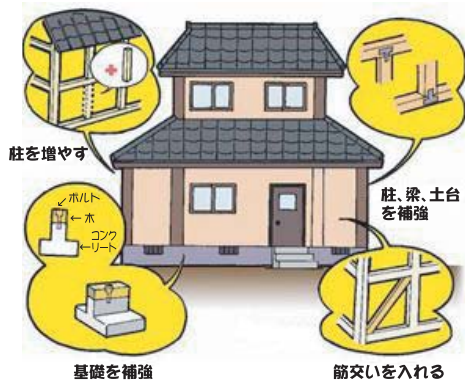
住宅の耐震診断を受けましょう

阪神・淡路大震災では、多く

の尊い生命が家屋の倒壊によって失われました。耐震性の不安が指摘されている昭和56年5月以前に建てられた住宅は、専門家による住宅の耐震診断を受けましょう。

町では、耐震診断をされる方に対して補助を行っています。

お問い合わせは建設課・都市計画管理係までご連絡ください。



家具の転落・落下防止をしましょう

地震が起きると、倒れた家具や落ちてきた物だけがをすることも考えられます。また、倒れた家具は、外へ逃げる時の障害

にもなります。こうした被害は、家具を固定したり、家具の上の物を置かないなど、ちょっとした工夫で防げます。家の中をチエックし、危険な箇所があれば安全対策をとっておきましょう。

☆チエックポイント☆

- ① 寝室、幼児、お年寄り、病人のいる部屋にたくさん家具を置いていないか。
- ② 照明器具、額縁、吊り棚の物が落ちてこないか。
- ③ 食器棚などがガラスが割れて中ものが飛び出したり、2段、3段重ねの家具の連結部がはずれて倒れてこないか。
- ④ テレビや人形ケースなどを家具の上のせていないか。
- ⑤ バルコニー、ベランダの手すりなど落下しやすいところに植木鉢を置いていないか。
- ⑥ 火元の付近に燃えやすいものはないか。
- ⑦ 玄関など外への避難通路が家具の転倒によりふさがれないか。